

共栄児童館 事業評価表
※事業区分「1」…仕様書事業 事業区分「2」…自主事業(企画事業)

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 R2年度	令和2年度の参加人数					実施回数 R3	令和3年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					R2年度	R3年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
乳幼児と保護者を対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ 0歳 ・すくすくクラブ	月2回程度	10	13	14	11	64	1	1	62	128	13	107	0	0	109	216	・コロナ禍でも、体験会、前期後期を全て行った。おもちゃ作り、わらべ歌遊びという内容にアレンジを加えるため、職員は予め今の子育て情報を確認して臨んだ。そのため母親とも会話が弾み、0歳児親子に積極的に話しかけ、温かく支えることができた。
		② 乳幼児クラブ 1歳 ・にこにこクラブ	月2回程度	10			11	59	0	0	49	108	13	106	0	0	106	212	・制作を少なめにして親子がふれあい、子どもが飽きないような内容を心掛けた。毎回、親子遊びに十分時間を取り、母親と一緒にだという安堵感を感じさせ主活動に移った。カラービニール袋を飛ばしたふわふわ遊び、館庭で行った落ち葉遊び(消毒した物)、運動会などの体を使った遊びは好評だった。
		③ 乳幼児クラブ 2歳 ・キンダークラブ ・ちびっこいろどりクラブ	月2回程度	10			17	148	0	0	125	273	26	186	2	0	155	343	・ちびっこいろどりクラブは色、感触、刺激遊びを取り入れ、子どもたちの五感に働きかける内容を提供できた。マーブリング、ゼリー遊び、ボディペインティング、フルイドアート(絵の具の流動性を利用したもの)など親も子も楽しめる新しい内容になった。 ・キンダークラブは、ふれあい遊びとして行っていたものを「走る」「飛び跳ねる」など大きな動作にして変化をつけた。結果、筋力、バランス、瞬発力など子ども達の成長する姿を親と共に見る事ができた。
	小 計						39	271	1	1	236	509	52	399	2	0	370	771	
	2	④ 乳幼児 自主事業 ・英語であそぼう ・リトミック ・おさんぽクラブ ・タンタカたんじょうび会 ・げんきつき・こいのぼり会 ・きらりん七夕会 ・ハッピーハロウィン ・げんきつき写真撮影会 ・きららクリスマス会 ・ひなまつり会 未:お月見会 タンタカたんじょうび会2回	随時		13	14	28	200	0	0	187	387	41	383	6	0	397	786	・おさんぽクラブは、市内の様々な地域から大勢の参加があった。コロナ対策で中止、延期があったが、参加者の満足度は大きく、幼児親子に体力作りと共に郷土のすばらしさを知ってもらう良い機会になった。 ・コロナ禍の中、季節行事は概ね行うことができ、参加者からも高評価を得た。七夕、ハロウィン、クリスマス会は定員を大きく上回ったので日にちを増やして行った。また11月に行った「げんきつき写真撮影会」は母親のニーズで新たに設けた事業である。
	小 計						28	200	0	0	187	387	41	383	6	0	397	786	

項目	事業 区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施 回数 R2年 度	令和2年度の参加人数					実施 回数 R3	令和3年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					R2年 度	R3年 度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
児童を 対象とした事業	1	① 小学生クラブ ・一輪車クラブ 未：一輪車クラブ6回	月2回程度		13	14	8	0	116	0	2	118	13	0	168	0	1	169	・一輪車クラブは、演技をしたいという子どもたちの希望で、曲、振り付けを考えて練習した。子どもたちはやりたい事を工夫してやって行こうとする姿があり、職員も協力した。子どもたちは、集中力のある練習で見事に演技を完成させ、児童館まつりで保護者にテラスから参観していただいた。 ・子どもスタッフは、5年生を中心に児童館近くの危険箇所を再度調べ、細かい地図を書き上げ、前年度から引き継いだハザードマップを完成させた。その努力の結果を残したいと朝日新聞社主催の『ぼうさいマップコンクール』に応募した。地域におけるフィールドワークや異年齢でのマップ作りと学び・発見の多いクラブになった。 ・チャレンジキッズは子どもたちのリクエストで、ルームプレート、勾玉などを作成した。作品は毎回個性的で子どもたちの思い描いたものを形にしていける力に毎回驚かされるクラブになった。
		・子どもスタッフクラブ 未：子どもスタッフ6回	月2回程度				13	0	86	0	0	86	12	0	107	0	0	107	
		・チャレンジキッズ 未：チャレンジキッズ2回	月1回				5	0	44	0	0	44	8	3	100	2	9	114	
		② ボランティア活動 ・ありがとデー ・地域の敬老の日の プレゼント作り 未：ありがとデー 3回	月1回程度				11	0	41	0	0	41	11	0	22	0	0	22	
	小 計						37	0	287	0	2	289	44	3	397	2	10	412	
	2	③ 児童 自主事業 ・新1年生あつまれ！ ・体力チャレンジ番付 ・キュートなルーム ・かんたん工作 ・30秒間手洗いチャレンジ ・科学工作・作陶体験 ・クリスマス会 ・ハロウィン小学生 未：チャレンジ番付 2回 キュートなルーム 2回 節分鬼ごっこ バレンタインイベント	随時		13	14	24	17	211	3	15	246	33	31	261	1	50	343	・新型コロナの影響で、夏の行事の「デイキャンプ」「水遊び」は実施が困難であると判断し、代わりに比較的安全で、思い出となるような科学工作、作陶体験を複数回企画し、多くの子どもたちが参加できた。また毎月行っている「キュートなルーム」を夏休みはスペシャルとして、時間をかけミシンでバッグを作った。自分の思いが形になったもので遊んだり、身につけたりする様子はとても満足気だった。
小 計						24	17	211	3	15	246	33	31	261	1	50	343		

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施回数 R2年度	令和2年度の参加人数					実施回数 R3	令和3年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等
					R2年度	R3年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
地域・多世代間交流事業	1	① 児童館まつり ・エンジョイ！わっしょい！ じどうかんまつり					1	15	63	0	12	90	1	6	43	0	19	68	・「エンジョイ!わっしょい！児童館まつり」を午前、午後に分け、申し込み制にして行った。2年振りに一輪車クラブの演技披露も保護者を招いて行うことができた。例年より参加人数は少ないが、子どもたちの歓声で賑やかなお祭りになった。コロナ環境に慣れてきてしまった子ども達、保護者の方々に寄り添う事業が出来た。
		② 移動児童館 未：高田焼祭り 20区夏祭り 共栄文化祭			13	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	・コロナ対策により、地域の夏祭り、敬老会など全て中止になった。しかし、子どもたちのニーズに応え出張児童館として東山へ出かけ、ドッチボール、大縄跳びなど、1時間程度一緒に遊んだ。（4月5月6月7月11月（10月は雨天中止）延べ118名で全て一般来館者としてカウント）
	小 計						1	15	63	0	12	90	1	6	43	0	19	68	
	2	③ 自主事業 ・館庭菜園 ・母の日、父の日の プレゼント作り ・敬老の日のプレゼント作り ・親子木工工作 ・バードウォッチング ・クリスマスリース作り ・花もち作り ・多世代卓球 未：館庭菜園1回 多世代卓球13回 中：ガサガサ探検隊 （悪天候）	随時		13	14	26	26	80	3	79	188	34	46	87	0	124	257	・少しでも多世代を繋いでいくために、令和3年度も母の日、父の日、敬老の日のプレゼント作り、バードウォッチング、花もち、多世代卓球などを企画し、多世代が集える場を提供した。 ・以前のように地域の高齢者と幼児や小学生が顔を見合わせて交流することは困難になっているが、子どもスタッフの地域の清掃活動、幼児クラブの散歩などで地域に出向いたときは、元気な挨拶、配慮のある声掛けを心掛けた。また民協、まちづくり市民会議など多世代とつながる機関と情報共有し、児童館でできることをPRした。
	小 計						26	26	80	3	79	188	34	46	87	0	124	257	
中高生事業	1	① 中高生ボランティア	随時	3	-	13	3	0	0	2	0	2	8	0	0	18	0	18	・中学校へ募集は行わず、おたよりに記載して募集した。参加者は小学生の時に子どもスタッフで活躍していた子がほとんどで、夏休み行事、児童館まつりなどで、一段と成長した姿を見せてくれた。講師や職員の言うことをかみ砕いて上手に小学生に指導する姿は、自分に自信を持っていることを窺うことができた。
	小 計						3	0	0	2	0	2	8	0	0	18	0	18	
	2	② 中高生ボランティア自主事業 ・プレママ・プレパパ体験 ・自習の時間	随時		-	13	0	0	0	0	0	0	2	0	0	6	0	6	・プレママ・プレパパでは、コロナ禍で実際の赤ちゃんを抱っこしたりできなかったが、保健センターで借りた人形を使って、新生児の抱き方、おむつの交換、着替えなどを体験した。また、職員が知る限りの今の子育て環境、働きながらの子育ての話をする事ができた。
	小 計						0	0	0	0	0	0	2	0	0	6	0	6	

項目	事業 区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価		実施 回数 R2年 度	令和2年度の参加人数					実施 回数 R3	令和3年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価 等	
					R2年 度	R3年 度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計		
子育てネットワークづくりの推進	1	① 相談事業 ・子育て相談日 未：子育て相談日3回	月1回	12	13	13	1	0	0	0	0	0	9	2	0	0	1	3	・相談日に相談は少なかった。 ・随時の相談は、子育て中の母親からの社会性、発達などの相談、小学生男児から友人関係について相談、女子中学生からの恋の相談など多岐に渡って相談を受けた。職員は、どんな相談に対しても「見守っている」という姿勢で真摯に対応した。	
		② 講習・講演・他連携 ・バランスボールで産後ケア		2			0	0	0	0	0	0	0	1	8	0	0	11	19	・東濃地区の様々なスキルを持つ若い母親が立ち上げたグループから相談があり、その熱意に賛同し、心と体の不調を改善する目的でバランスボールを行った。終了後、参加者は「無理のない運動で、スッキリできた」と大変好評であった。
		② 母親クラブ ・共栄倶楽部 未：共栄倶楽部3回	月1回程度				8	6	3	0	10	19	6	8	0	0	8	16	・母親クラブを立ち上げたいと毎月「共栄倶楽部」として参加者を募り、ダンス、手芸などを行いつつクラブの意義、活動内容などを話した。しかし参加者に共栄校区の方が少なかったこと、コロナ禍で不要不急の集まりは避ける方向にあったことなどで母親クラブの立上げには至らなかった。	
	小 計					9	6	3	0	10	19	16	18	0	0	20	38			
	2	③ 子育て自主事業 ・新米ママたいむ ・おばあちゃんと一緒 ・支援児あそびの広場 未：新米ママたいむ3回 おばあちゃんと一緒2回			13	13	7	8	5	6	16	35	12	18	6	7	35	66	・初めて母親になった方を対象にした「新米ママたいむ」に加え、自信をもって孫育てに関わることをお手伝いしたいと、新規事業「おばあちゃんといっしょ」を行った。乳幼児だけではなく、小学生の孫にも対応できるように、絵本、手遊び、人気ボードゲームなどを紹介し、孫育てを応援した。 ・「障がい児遊びの広場」は、和太鼓体験を行った。令和3年度は、健常児の参加も多く、太鼓を囲んでにぎやかな時間を持つ事が出来た。	
小 計					7	8	5	6	16	35	12	18	6	7	35	66				